



はるな
春名すみれちゃん
令和2年11月4日
板倉町



ふじおかのは
藤岡希羽ちゃん
令和2年11月4日
高須町



みうらはるき
三浦悠暉ちゃん
令和2年11月7日
熊野町



はやし りつき
林律樹ちゃん
令和2年11月16日
築地町

あつまれ かりやっ子

応募はこちらから
簡単にできます！



▲申込フォーム



そごうここみ
十河心優ちゃん
令和2年11月19日
新富町



わたなべ ひなみ
渡邊柗南ちゃん
令和2年11月22日
半城土中町

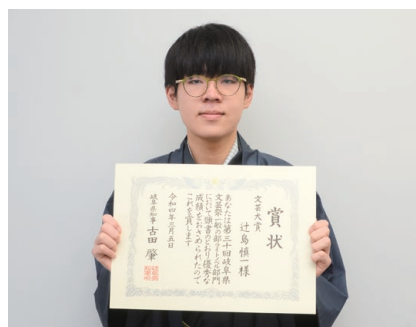


たけなかこうへい
竹中幸平ちゃん
令和2年11月22日
宝町



わたなべここな
渡邊心奈ちゃん
令和2年11月25日
一里山町

岐阜県文芸祭ライトノベル部門で最高賞受賞！ 小説家も認めた若き才能



つじしましんいち
辻島慎一さん(18)
(新栄町)

に興味を持ち、これまで100冊以上のライトノベル小説を読みました。本に囲まれて育った少年時代で、たくさんの本を読むうちに、いつかは作家になるという夢を描くようになりました。

初の応募で最高賞を受賞！

辻島さんが尊敬する岐阜県出身の小説家・白鳥土郎先生が審査員を務める全国公募の岐阜県文芸祭に人生初となる作品を応募したところ、なんと最高賞である文芸大賞を受賞！白鳥先生からも評価を得ることができ、夢への一歩を踏み出しました。

受賞作「高速道路の上に家を建てよう、と彼女は言った。」は、伊勢湾岸自動車道の名港トリトンを舞台に、一人の中学生の女の子の夢を叶えるため、仲間たちが集まって協力し合うという短編の物語。登場人物ごとの生活環境の

違いに友情を引き離されながらも、夢に向かって進む青春時代の真つぐな思いを描いた作品です。

作家という夢が目標に

辻島さんは、現在通っている高校でもライターとして校内冊子を作成しており、日々執筆活動に勤しんでいます。「新たな賞の受賞に向けて、新しい作品を執筆しています」と次の目標に向かって情熱を燃やし、作家への道を進み始めています。



本好きだった少年時代

「図書館の司書である母の影響を受け、幼い頃から大の読書好きでした」と話す辻島さん。時には2時間くらい入浴しながら、1冊の本を読み切ったこともあるそうです。小学5年生の頃、友達の勧めで読み始めたライトノベル小説

いまだく活用
ご活用ください。